

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	聖マリアンナ医科大学看護専門学校
設置者名	学校法人 聖マリアンナ医科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	2145	240	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ https://www.marianna-u.ac.jp/nursing/pdf/ichiran2022.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	聖マリアンナ医科大学看護専門学校
設置者名	学校法人 聖マリアンナ医科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

聖マリアンナ医科大学ホームページ	https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/info/file/yakuinmeibo.pdf
------------------	---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	前株式会社社員	2020.4.1～ 2023.3.31	財務担当
常勤	前地方公務員	2020.4.1～ 2023.3.31	総務担当
常勤	前株式会社社員	2020.4.1～ 2023.3.31	企画・知財担当
常勤	前株式会社社員	2020.4.1～ 2023.3.31	事業担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	聖マリアンナ医科大学看護専門学校
設置者名	学校法人 聖マリアンナ医科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校は、保健師助産師看護師法学校養成所指定規則に基づき、講義 80 科目 80 単位(1,950 時間)、臨地実習 13 科目 23 単位(1,035 時間)、合計 93 科目 103 単位(2,985 時間)のカリキュラム構築となっている。そこでの学習については「シラバス」を作成し、科目ごとの単位・開講時期・学習目的・学習目標・講義内容・評価の方法等を明記し、4月始業時に全学生・講師・実習施設等に冊子を配布し、ポータルサイトでも提示している。</p> <p>専門基礎分野・専門分野・統合分野については、科目ごとに学生へ授業評価を実施しており、評価結果は年度末に各講師へ紙面で伝達される。専任教員においては、授業の自己点検・自己評価を実施しており、学生アンケート結果や自己点検・自己評価等を基に学習ガイダンスの内容を毎年見直ししている。</p> <p>臨地実習については「実習要領」を作成し、本校の実習目的・実習目標とともに、実習科目ごとの単位・実習目的・実習目標・実習時間・実習場所・実習内容・評価の方法等を明記し、4月始業時に冊子を配布し、ポータルサイトでも提示している。また、「実習要領」は、臨地実習受け入れ施設(病院・老人保健施設・訪問看護テーション・助産院・保育園等)にも配布している。さらに臨地実習前には専任教員と臨地実習指導者で事前打ち合わせを行い、「実習要領」にある内容の共通理解と指導体制の確認を行い、指導の連携をはかっている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本校ホームページ (シラバス)</p> <p>https://www.marianna-u.ac.jp/nursing/syugakushien.html</p> <p>【シラバス】【実習要項】希望者には本校窓口で閲覧可能</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本校で履修すべき 103 単位 2,985 時間 (講義 80 科目 80 単位 1,950 時間、臨地実習 13 科目 23 単位 1,035 時間) すべての科目は、その科目の講師が成績の評価を行っている。成績は 100 点満点で評価され、80 点以上が A 評価、70 点以上 80 点未満が B 評価、60 点以上 70 点未満が C 評価、60 点未満を D 評価としている。成績が A～C 評価の者を合格とし、当該科目の単位修得としている。</p> <p>講義 (演習含む) の評価は、科目講師が終了試験・レポート・出席状況・課題提出状況等によって行う。これらの評価方法については、4 月始業時に「学習ガイダンス」や「試験内訳表 (複数の講師で担当する科目の評価配分が明記されたもの)」を配布し、学生へ周知している。また、5 月には「年間終了試験予定表」を公示し、学生が計画的に学習し、終了試験に臨めるよう支援している。</p> <p>臨地実習の評価は、実習領域ごとの実習目的・実習目標をもとに作成したルーブリック評価表を用いて行っている。臨地実習の成績評価にあたっては、学生の学習姿勢や学習達成状況を専任教員と臨地実習指導者で確認・共有しながら指導にあたっている。</p> <p>臨地実習最終日には、学生の臨地実習自己評価表をもとに専任教員と学生が臨地実習での学習達成度を確認するリフレクションの時間も設けている。</p> <p>臨地実習の最終評価は、臨地実習指導者の意見や学生の自己評価をもとに専任教員が行う。また、成績の可否については、専任教員と臨地実習指導者で共有している。</p> <p>本校の臨地実習の主な実習先である聖マリアンナ医科大学病院看護部の教育担当者や当校教員 (教務主任・実習調整者) で 2 か月に 1 回程度、学校看護部連絡会議を実施し、学生の実習状況、実習指導に関する問題等を確認・共有する場を設けている。さらに、母性実習の実習場の確保については、聖マリアンナ医科大学病院および関連病院を統括するナースサポートセンターとも連携を図っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校で履修すべき 103 単位 2,985 時間 (講義 80 科目 80 単位 1,950 時間、臨地実習 13 科目 23 単位 1,035 時間) すべての科目は、その科目の講師が成績の評価を行っている。成績は 100 点満点で評価され、80 点以上が A 評価、70 点以上 80 点未満が B 評価、60 点以上 70 点未満が C 評価、60 点未満を D 評価としている。成績が A～C 評価の者を合格とし、当該科目の単位修得としている。</p> <p>学生には、自己の成績状況を把握し学習に役立てることを目的に、科目別の試験結果 (得点) と取得単位が記載された個人成績表を年 4 回程度 (7 月・11 月・1 月・2 月ごろ) に配布している。また、保護者にも個人成績表を年 2 回 (11 月・3 月末) 郵送している。</p> <p>本校は 2 学期制 (前期: 4 月 1 日から 9 月 30 日まで、後期: 10 月 1 日から 3 月 31 日まで) としている。学期末の 10 月、3 月に、全学生の成績および出欠席状況を教員全員で確認・共有する教員会議を設けている。本校の学則第 7 章、第 22 条に基づき、3 月の教員会議 (単位認定会議) では、当該年度に修得すべき単位修得の状況が報告される。この会議を経て、校長が認定している。</p> <p>教員会議においては、添付資料 (2021 年度 1 年生 (77 名) 成績の分布状況を表す資料) のように、学生の履修科目の成績の平均点を算出し、学年毎の平均点の分布についても教員間で把握している。</p> <p>また、学生へ個人成績表を配布する際に、履修科目の成績の平均点を自己算出してもらい、科目ごとの平均点は口頭および掲示で学生へ伝えている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>【学生便覧】【実習要項】希望者には本校窓口で閲覧可能</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定は、本校の学則第7章、第23条の規定及び成績細則第12条に基づき行われる。卒業の認定にあたっては、本校に3年以上在籍し、総単位103単位(2,985時間)を修得し、欠席時間が出席すべき日数の3分の1を超えない者について、卒業認定会議の議を経て校長が卒業の認定を行う。卒業を認められた者は、専門士(医療専門課程)と称し、卒業証書を授与する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>【学生便覧】 希望者には本校窓口で閲覧可能</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	聖マリアンナ医科大学看護専門学校
設置者名	学校法人聖マリアンナ医科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	聖マリアンナ医科大学ホームページ 法人案内 財務情報 https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/disclosure
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,985 単位時間	1,950 単位時間	単位時間 /単位	1,035 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		242人	0人	21人	128人	149人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 「様式第2号の3の1. を参照」
成績評価の基準・方法
（概要） 「様式第2号の3の2. 様式第2号の3の3. を参照」
卒業・進級の認定基準
（概要） 「様式第2号の3の4. を参照」

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>学生の学習支援および生活指導のため学年担当制とし、学年ごとに4名～5名の専任教員を配置し、定期および必要時に面接の機会を持っている。学習面の指導では、学生の模擬試験や科目成績等から成績別クラス（成績上位・中位・下位の3クラス制）を設け、成績レベルに応じた学習会やオンラインストレージを活用した課題配信学習等を行っている。</p> <p>その他、修学支援として聖マリアンナ医科大学奨学金制度をはじめ、学生支援機構・神奈川県・川崎市の奨学金制度の紹介も行っている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
84人 (100%)	2人 (2.4%)	81人 (96.4%)	1人 (1.2%)
<p>(主な就職、業界等) 聖マリアンナ医科大学病院・聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院・聖マリアンナ医科大学東横病院・川崎市立多摩病院</p> <p>(就職指導内容) 聖マリアンナ医科大学の各病院において臨地実習を実施していることから、就職希望者も多い。例年では各病院においてインターンシップも行っている。</p> <p>(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験資格/保健師・助産師養成学校受験資格</p> <p>(備考)（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
270人	18人	6.7%
<p>(中途退学の主な理由) 看護師を目指す気持ちがなくなったため、他にやりたいことがあるため等</p> <p>(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の学習支援および生活指導のため学年担当制とし、学年ごとに4名～5名の専任教員を配置し、定期および必要時に面接の機会を持っている。 教員の面接以外にも法人内の学生相談室があり、学生からの申し入れがあった場合はいつでも臨床心理士の面談が可能である（面談は無料）。また、必要時は教員から学生相談室の利用をすすめている。 学習面の指導では、学年担当教員が学生の模擬試験や科目成績等から成績別クラス（成績上位・中位・下位の3クラス制）を設け、成績レベルに応じた学習会やオンラインストレージを活用した課題配信学習等を行っている。 さらには、前期成績会議（10月中旬）の時点で成績や出欠席状況の気になる学生については三者面談（学生・保証人・教員）を実施しており、早い段階からの保証人と連携した学習支援も行っている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	100,000 円	360,000 円	100,000 円	実習費等
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校 HP 学校評価報告書 https://www.marianna-u.ac.jp/nursing/common/pdf/school_report.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校が関係者に委嘱状を持って依頼し受託確認をとっている。 評価会議は学校教職員による学校運営に関する自己評価をもとに、校長、教務科長、事務長が同席し、委員の高校関係者 2 名、看護団体関係者 1 名、卒業生保護者 1 名、法人関係者 6 名より意見を聞く機会を設け、教育水準の向上・創意工夫のある教育の追求を図る。結果は本校ホームページで公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
神奈川県立高校	2021年10月1日～2022年9月30日	教員
神奈川私立高校	2021年10月1日～2022年9月30日	教員
川崎市看護協会	2021年10月1日～2022年9月30日	看護師
助産院	2021年10月1日～2022年9月30日	PTA
聖マリアンナ医科大学	2021年10月1日～2022年9月30日	医師他 5 名
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校 HP 学校関係者評価 https://www.marianna-u.ac.jp/nursing/pdf/school_kaigi2021.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校 HP https://www.marianna-u.ac.jp/nursing/

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	聖マリアンナ医科大学看護専門学校
設置者名	学校法人聖マリアンナ医科大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		12人	11人	12人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	第Ⅱ区分	－	0人	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				12人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

- (1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

- (2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

- (3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。